

ミニバザール ジャズ・ポップス



山帆 米美

第83回こども定期演奏会開き!!!
秋の風景

9月4日、夏の暑さが残る秋の日に、サントリホールでも定期演奏会が開かれました。今回は、川瀬賢太郎さんの指揮で、アンソリストの角野隼斗さんとともに東京交響楽団が音楽を届けてくれました。

こども定期演奏会は、生活の中にクラシック音楽を取り入れてほしいという願いで開かれています。

マエストロ川瀬さんが作り出すすばらしい演奏会

身体を大きく使って、ダイナミックにタクトをふる指揮者の川瀬さん。指揮者としてのようすばらしい演奏を作り上げているのでしょうか?



川瀬さんは、演奏会の3ヶ月前から楽譜を毎日見るそうです。川瀬さんに楽譜を見せていただき、指揮者の楽譜は全ての楽器のフルスコアです。これを頭に



取材の様子

写真提供: サントリーホール ©池上直哉

れるのは、大変なことだと思います。しかし、川瀬さんは、毎日楽譜を見ていて、完璧に覚えている。そうです。

例えば、ドラムもとちびまるごちゃんが入れかわたら、だれでも分かりやすいよね? そんな感覚で演奏に少しの間ちがいがあっても気付けないのだそうです。リハーサルでは、川瀬さんが「ぎふ人の笑い声のようにホッホッホ」と感じてもらいます。と声をかけると、イメージにぴったりの演奏になりました。指揮者と演奏者は、上下関係ではなく、フェア平等です。指揮者と演奏者が

一緒にになって私たちが、すてきな音楽を届けてくれるのです。

ピアノリスト角野隼斗さんとインタビュー

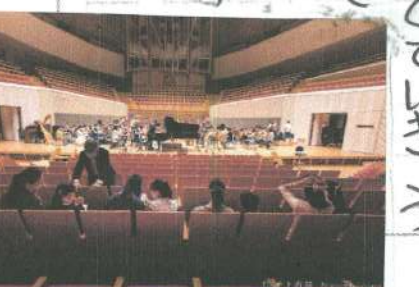


リズムカルな演奏を聞かせてくださった角野さんにインタビューさせてください。2018年にサントリホールでひいたラップルでひいたラップルが、一番印象的に残っています。しかも、こども定期演奏会でも聞いてみたいですね!!

ピアノを上手にひくコツとは?
こどもを意きしてピアノをひくと上手に演奏できるそうです。けんぱんハーモニカを使うようになって、楽器をひく時のこきゅうの大切さを知ったそうです。演奏してくださったティンカーランドは、トイピアノのかわいい音色とけんぱんハーモニカのアコースティック

な音色が組み合わせたおどるように楽しい曲でした。こども定期演奏会を、楽しみにする人たちへ、ステイジマネージャー

取材を通じて、演奏会のために、たくさんの方が、たい以外で働いていて、ということが分かりました。今回は、ステイジマネージャーの仕事を紹介しました。ステイジマネージャーは、楽器をぶたいにセットして、演奏者がベストなように、パフォーマンズできるようにします。表ぶたいに出ることはありませんが、演奏会が無事な進行管理に欠かせないポジションです。私たちが、演奏会を思う。ごんぶんとんのかきる時間を、こきゅうして、くださって、いることに、感謝したいです。ね!!



リハーサルの様子